平成10年7月27日発行

NO 200

泉南走ろう会

連絡先
泉南スポーツ社
0724(83)4653

サロマ湖100キロマラソンに同行して

岡田

前夜、バスで到着した時は、まっ暗で、雨も降っていたため、何も見えなかった。ホテルの窓の外に、どんよりと曇った灰色の空とサロマ湖の湖面がつながっていた。

徳山さんの御主人が車で応援されるので、同乗させていただけるとの事で、そろそろ部屋を出ようとした、九時四十分頃、窓の左側、一直線に延びた道路の前方から選手らしい人が見えてきた。ホテルの前は、七十数キロ地点で、そこを五時間以内で通過したのはトップの人だったのだろうか。

午前十時の気温は八度、みんな寒そうに走っていた。五十キロ過ぎの所で待っていると泉南走ろう会の方達が、次々と通過し、その後も、順番は前後しながらゴールした。

次の日、知床観光は、天気にも恵まれ、ハマナス、エゾキスゲ、エゾスカシユリが美しく、北海道の雄大な景色と、緑に囲まれ、心が和み、穏やかになったような気がする。一〇〇キロマラソンお疲れさま、そしてお世話になりました。

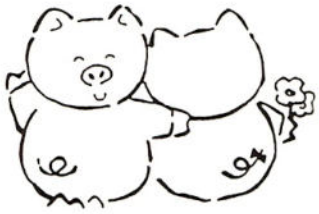
泉南走ろう会会報二〇〇号発行おめでとう！

早いもんで一〇〇号を記念して前会長の逵さんら会員の皆さんや家族の方々と堀河ダムで走りバーベキューをやったのが、ついこの前の様にもわれます。その後新しい会員の皆さんの入会や又退会をした人もありましたが、この七月、二〇〇号が発行されることが出来本当に良かったと思います。二〇〇号と一言で言い表されない色々な事があったと思われます。特に編集をして頂いた岡田さんそれに前回までのお世話をして下さった石橋さんらの努力がなかったらとても出来るものではありません。紙面を借りて御礼を申し上げます。

一年に十二～十五回の発行ですから一〇〇号から八年余りの年月ですね、その中には大会の参加の感想やゴールした時の感激、故障した時のアドバイス、走る事についての楽しさ、会員の皆様の近況、思わず吹き出してしまう様な記事等々があり何時も楽しみにしております。今後も事務局の岡田さんは大変ですがよろしくお願い申し上げます。又会員の皆さんもどしどし原稿（私自身もあまり原稿を出していなくて申し訳御座いません）をお願いします。

今後もますます皆さんの良き絆となる様な会報を目ざし、皆さんと一緒に楽しく明るくやっていきましょう！

粟野原



お知らせ

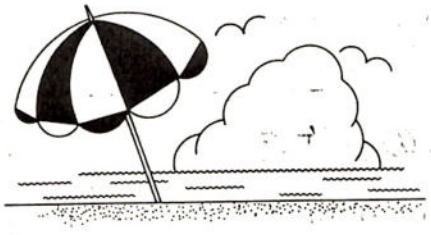
一、例会

・八月九日
種河神社　九時集合

・八月二十三日
種河神社　九時集合

二、大会案内

・和歌山城、高野山二〇キロウルトラマラソンが今年も十月十八日に行なわれます。この大会は地元の上、スタートも自分の実力に合せて出来る、大会であり、又ゴール後の事務局のサービスも良く、楽しい大会です。会員の方でウルトラを走ってみたいと考えておられる方は、是非参加してみては、どうでしょうか。

申し込み用紙は事務局（岡田）にありますので、御連絡下さい。

尚、申し込みは八月末までとなっております。